

Satera シリーズ 不正アクセス防止対策について

重要 管理者の方は、必ずご一読ください。

平素より、キャノン製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。本書ではSateraシリーズにおける外部ネットワークからの不正アクセス防止対策の例を記載いたします。ご利用の前に必ずご一読いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめに

キャノンのSateraシリーズではネットワークに接続する事で、プリントやリモートUIにおける管理、さらに複合機においてはスキャン画像の送信といった、さまざまな便利な機能が利用できるようになっています。

ここではSateraシリーズをネットワークに接続する際の、外部からの不正アクセス対策のポイントとして、プライベートIPアドレスでの運用を紹介します。

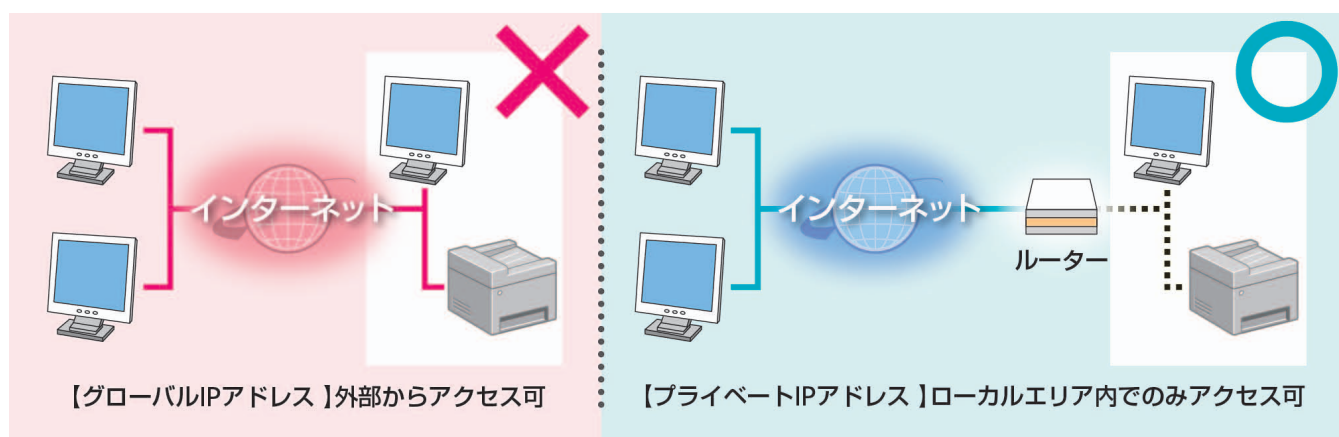
プライベートIPアドレスで運用する

IPアドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われるIPアドレスを「グローバルIPアドレス」社内LANなどのローカルエリアネットワークで使われるIPアドレスを「プライベートIPアドレス」と呼びます。プリンターに設定されているIPアドレスがグローバルIPアドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベートIPアドレスが設定されているプリンターなら、社内LANなどのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。

基本的には、プリンターのIPアドレスにはプライベートIPアドレスを設定して運用してください。プライベートIPアドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのSateraシリーズに設定されているIPアドレスがプライベートIPアドレスかどうかを確認するようにしてください。

プライベートIPアドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255



IPアドレスの設定方法や確認方法につきましては、各機器のマニュアルをご参照下さい。

MEMO

プリンターにグローバルIPアドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンターにグローバルIPアドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。